



京葉銀行

ミニディスクロージャー誌

2024

2024年3月期 営業のご報告



ケイヨウギンコウのケイヨウインコ

プラス  で、未来をともに。

Contents

トップメッセージ	1	KEIYO TOPICS	9
企業理念	3	財務ハイライト	11
長期ビジョン	5	非財務ハイライト	12
中期経営計画	7	株式情報	13
企業価値向上に向けた取り組み ～資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応～	8	プロフィール	14



プラス α の価値を提供し、 地域の豊かな未来をともに築く

取締役頭取 熊谷 俊行



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。

私たちを取り巻く経営環境は、人口減少や少子高齢化といった構造変化に加え、サステナビリティへの意識の高まりやデジタル化の進展といった歴史的な構造転換により、変革が進むとともに、そのスピードも加速しています。さらには、コロナ禍を経た人々の行動様式や企業活動の変化を背景に、地域社会やお客さまの課題は、年々多様化・高度化していくことが予想されます。

このような環境変化が激しく将来の予測が難しい時代にあって、当行グループでは、2023年3月に迎えた創立80周年を契機に、あらためて私たちの存在意義や使命を見つめ直すとともに、いかに地域社会やお客さまの課題解決を実現していくかについて、「全員参加型」で議論を深めてまいりました。その結果、グループ全従業員の進むべき方向を合わせていくため、企業理念を“プラス α の価値を提供し、地域の豊かな未来をともに築く”と再定義するとともに、創立90周年に目指す姿で

ある長期ビジョンと、その実現に向けた第20次中期経営計画を策定いたしました。

長期ビジョンは、社会価値と経済価値の両立をテーマに、当行グループが創立90周年に目指す姿をバックカスティング思考で策定し、「お客さま満足度No.1のソーシャル・ソリューショングループ」を目指し、経営資源の次世代化により、社会課題の解決力を強化してまいります。また、第20次中期経営計画は、長期ビジョンのフェーズ1として、社会課題の解決力強化に向け、成長エンジンの再構築を図る3年間と位置づけ、4つの基本戦略を推進します。そして、ターゲットとして財務KPIとサステナビリティKPIを設定し、2つのKPIを実現することで、企業価値の最大化を目指してまいります。

なお、2021年4月から2024年3月までの3年間を計画期間とした第19次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2024~さらなる進化~」においては、本部直接営業の強化やエリア制の全店展開のほか、りそなホールディングスとの戦略的業務提携などに取り組み、課題解決型営業の強化を図ってまいりました。これらの各種施策をグループ一丸となって着実に推し進めた結果、経営指標として掲げた「親会社株主に帰属する当期純利益80億円」「自己資本比率(連結)11%程度」「OHR(単体)60%台」を、いずれも達成することができました。

このような業績や株主還元の充実等を総合的に勘案し、2024年3月期の年間配当金は1株当たり2円増配し、24円とさせていただきます。なお、2025年3月期の1株当たりの年間配当金は、2年連続で2円増配となる26円を予定しています。

これからもすべてのステークホルダーの皆さまのご信頼とご期待にお応えできるよう、当行グループ役員一同さらなる努力を重ねてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

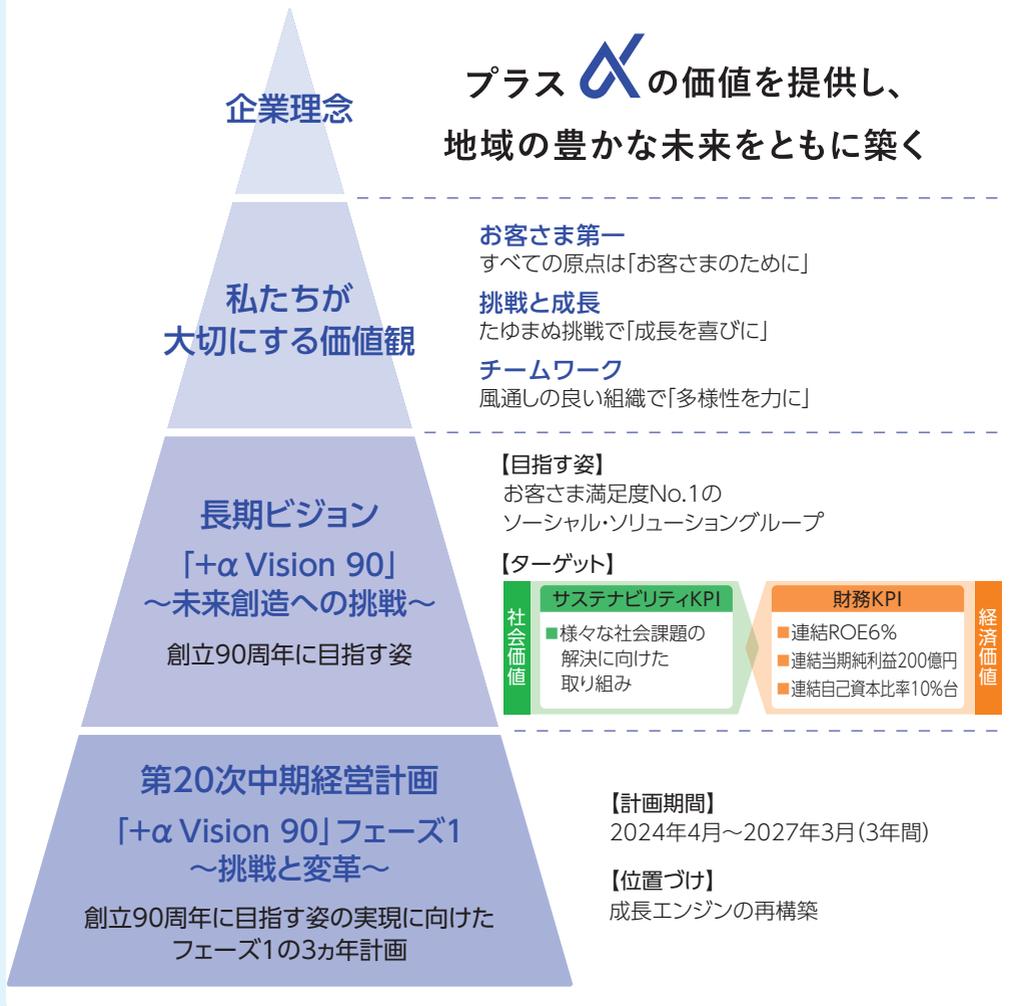
2024年6月



企業理念

プラス α の価値を提供し、地域の豊かな未来をともに築く

理念体系・位置づけ



企業理念に込めた想い

私たちの使命は、いつの時代も「地域の豊かな未来をともに築く」ことです。

でも、豊かさは時代とともに移り変わり、人によってその意味は異なります。

それだけに、私たちはその時その時、目の前にいるお客さまの「今とこれから」の幸せのために、「どうあるべきか?」、「何ができるのか?」京葉銀行グループで働く一人ひとりが真剣に考えています。

私たち京葉銀行グループは、創業以来、地域に根差し地域とともに成長してきた、顔が見える銀行グループです。そんな私たちだからこそできる「プラス α 」で、まち・ひと・しごとの未来に貢献し続けます。

そして、従来の枠にとどまらない発想で変革に挑戦し、これまでの金融サービスを飛び越え、「プラス α 」の価値を高め続けてゆきます。

地域やお客さまの「豊かな未来」を、私たちの「プラス α 」で、ともに築く。

「プラス α で、未来をともに。」

コーポレートスローガン

プラス α で、未来をともに。

京葉銀行グループ企業理念について、広く共感いただくためのコミュニケーションワードです。地域、お客さま、株主、従業員などのすべてのステークホルダーの皆さまに、京葉銀行グループ企業理念を体感いただくことを目指し、コーポレートスローガンを中核に、コミュニケーションを深めていきます。

オリジナルキャラクター



2024年4月に誕生した「ケイヨウインコ」は、インコをモチーフにした当行オリジナルキャラクターです。すべてのステークホルダーにより一層親しみやすく、身近に感じてもらえる存在でありたいとの想いから制作しました。「京葉銀行」にダイレクトに結びつくネーミングと、デザインに α の文字があることから、「 α =ケイヨウインコ=京葉銀行」を一目で連想できるキャラクターとなっています。

「インコ」と「私たちが大切にしている価値観」の相関性

インコの特徴・習性

人懐っこい …… 人に寄り添う …… **お客さま第一**
 好奇心旺盛 …… チャレンジ精神 …… **挑戦と成長**
 仲間と一緒に過ごす …… 風通しの良い職場 …… **チームワーク**

「私たちが大切にしている価値観」

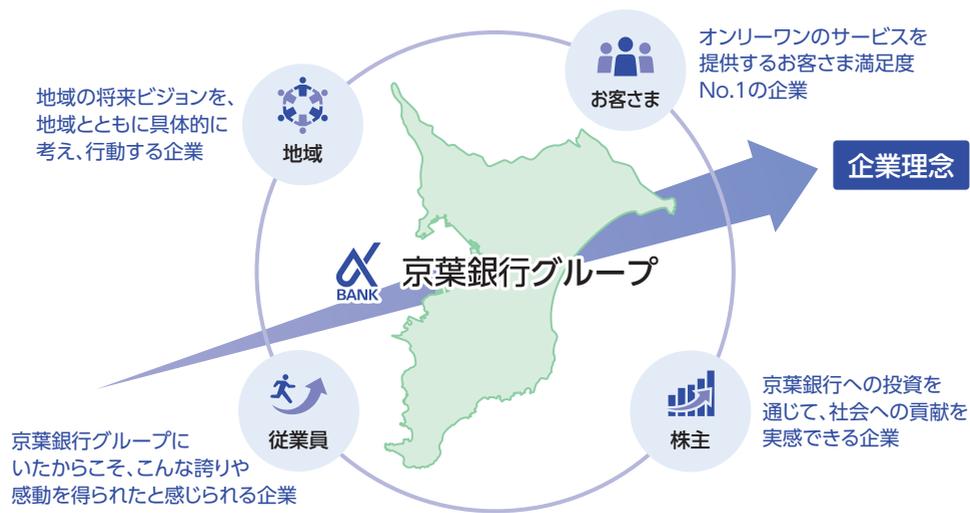
長期ビジョン

お客さま満足度No.1の ソーシャル・ソリューショングループ

京葉銀行グループが2033年3月の創立90周年に目指す姿を、
長期ビジョン「+αVision 90」～未来創造への挑戦～として決めました。

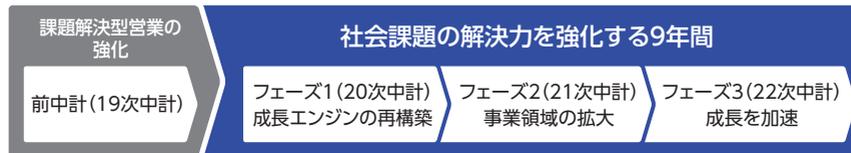
長期ビジョンに込めた想い

私たちの使命は、いつの時代も「地域の豊かな未来をともに築く」ことです。
社会課題の解決を起点にすべてのステークホルダーのエンゲージメント向上と京葉銀行グループの企業
価値向上の両立を実現します。



長期ビジョンにおける重点テーマ

経営資源の次世代化により、社会課題の解決力を強化



経営資源の次世代化

人的資本 人的資本投資の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材ポートフォリオ再構築と女性活躍推進 ■ 分業による専門性向上とキャリアパスの再構築 ■ 従業員エンゲージメントの向上
チャンネル オムニチャンネルの進化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対 面：地域特性に応じた戦略的な店舗展開(拠点数維持) ■ 非対面：新アプリを軸としたお客さま接点拡大 ■ チャンネル間でのデータ連携・利活用の強化
業務プロセス 業務プロセスの解体・再構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 店頭オペレーション改革(事務から営業へ) ■ AIを活用した業務プロセスの再構築
システム 次世代勘定系システムの活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープン系システムを活用した生産性の向上 ■ 戦略的なシステム投資の拡充

企業文化改革 企業理念の実現に向けた行動の実践

目指す姿

お客さま満足度No.1のソーシャル・ソリューショングループ

女性管理職比率	30%(2032年度)
ESG関連投融資実行額 ^{*1}	14,000億円(2030年度)
うち環境分野向け	7,000億円(2030年度)
CO ₂ 排出量削減率 ^{**2}	50%削減(2030年度)

企業価値の最大化

社会価値と経済価値の両立

社会課題の解決を起点とするビジネスモデルの強化

連結ROE ^{**3}	6%(2032年度)
連結当期純利益	200億円(2032年度)
連結自己資本比率	10%台(2032年度)

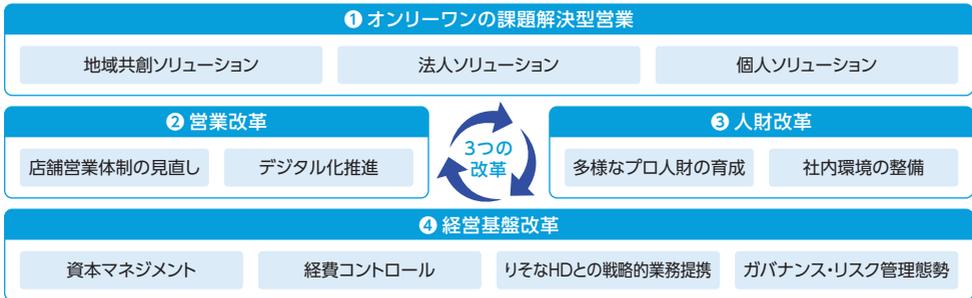
財務KPI

※1 環境分野向け、医療・介護分野向け投融資等、ESGに資する投融資における2021年度からの累積実行額 ※目標を7,000億円から14,000億円に上方修正し、環境分野向けを新設 ※2 2013年度比 ※3 株主資本ベース



第20次中期経営計画 「+α Vision 90」フェーズ1 ～挑戦と変革～ 計画期間 2024年4月～2027年3月(3年間)

4つの基本戦略



財務KPIとサステナビリティKPIの実現により、企業価値を最大化

財務KPI	中計目標(2026年度)		長期目標(2032年度)	
	指標	目標値	指標	目標値
資本効率性	連結ROE※1	4%	連結ROE※1	6%
収益性	連結当期純利益	120億円	連結当期純利益	200億円
健全性	連結自己資本比率	10%台	連結自己資本比率	10%台

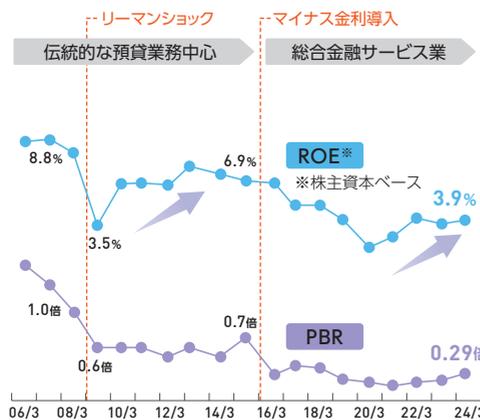
サステナビリティKPI	中計目標(2026年度)		長期目標(2032年度)	
	指標	目標値	指標	目標値
地域経済・社会	ビジネスマッチング件数	4,000件	ビジネスマッチング件数	—
	経営計画策定サポート先数※2	1,200先	経営計画策定サポート先数※2	—
	事業承継ソリューション件数※3	500件	事業承継ソリューション件数※3	—
	地域共創ソリューション件数※4	400件	地域共創ソリューション件数※4	—
	預かり資産残高	6,500億円	預かり資産残高	—
ダイバーシティ & インクルージョン	相続関連商品成約件数※5	2,000件	相続関連商品成約件数※5	—
	従業員エンゲージメント※6	80%以上を維持	従業員エンゲージメント※6	—
環境保全	女性管理職比率	12%	女性管理職比率	30%
	ESG関連投融资実行額※7 うち環境分野向け	—	ESG関連投融资実行額※7 うち環境分野向け	2030年度 14,000億円 うち環境分野向け 7,000億円
	CO ₂ 排出量削減率※8	—	CO ₂ 排出量削減率※8	2030年度 50%削減

※1 株主資本ベース ※2 経営改善計画を含む経営計画策定支援先数 ※3 事業承継、M&Aの支援件数 ※4 産学連携、企業誘致などのソリューション提供件数
 ※5 遺言信託、資産整理、家族信託などの成約件数 ※6 従業員エンゲージメント調査にて「当行で働くことに満足」と評価した行員の比率 ※7 環境分野向け、医療・介護分野向け投融资等、ESGに資する投融资における2021年度からの累積実行額 ※8 目標を7,000億円から14,000億円に上方修正し、環境分野向けを新設
 ※9 2013年度比

企業価値向上に向けた取り組み ～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～

現状分析

持続可能なビジネスモデルの構築を着実に進めてきたことで、ROEは改善基調。今後は、ROEのさらなる向上とPBR改善の実現を目指す。



PBR改善に向けて

ROEと資本コストの関係式

ROE ≥ 株主資本コスト ⇒ PBR1倍以上

*ROE(自己資本利益率)…自己資本に対してどれだけ利益をあげているかを図る指標
 *PBR(株価純資産倍率)…企業の純資産価値に対して株価が何倍かを示した指標
 *株主資本コスト……………株主が企業に期待するリターン

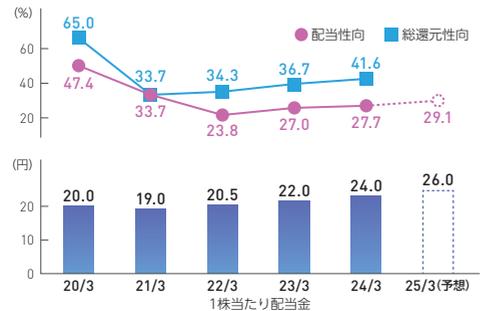
PBRの改善に向けた考え方

- ・企業価値向上に向け、第20次中期経営計画における4つの基本戦略を推進することで、ROEのさらなる向上を目指す
- ・業績予想に対する振れ幅を抑制するため、情報開示の充実と市場との適切な対話を強化

情報開示の充実
業績の不確実性の抑制
サステナビリティへの理解向上

株主・投資家とのコミュニケーション強化
成長戦略への理解向上
タイムリーな情報開示

株主還元



第19次中計 | 第20次中計

■ 安定配当を基本としつつ、配当性向30%以上を目安
 ■ 安定配当を基本としつつ、総還元性向40%程度とする

健全性の維持と成長投資の機会を考慮しつつ
株主還元を拡充



お客さまの資産形成をサポート

【新NISA】つみたて投資枠対象商品に人気の22ファンドを追加

2024年1月、新たに「つみたて投資枠」専用の投資信託22ファンドの取り扱いを開始しました。

新しいNISA制度を活用したお客さまの資産形成を全力でサポートしていきたいという想いから、長期・分散・積立投資を低コストで実現できるよう、魅力ある人気ファンドを取り揃えています。また、来店不要でいつでも、どこでも始めていただきやすいよう、すべてのファンドがインターネットバンキングから手続き可能です。(一部の商品は店頭でも取り扱い可能です。)



投資信託ロボットアドバイザー「FUND Navi」(ファンドナビ)を導入

2024年4月、お客さまの資産形成をサポートするツールとして、投資信託ロボットアドバイザー「FUND Navi」(ファンドナビ)の取り扱いを開始しました。

ウエルスアドバイザー株式会社が提供する本サービスでは、すべての個人のお客さまを対象に、わずか1分でご自身に最適なファンドを見つけることが可能です。当行HPまたは右の二次元コードよりご利用いただけます。



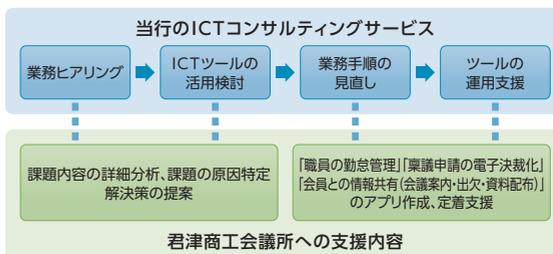
「FUND Navi」を始める



君津商工会議所のDX推進を伴走支援

～業務システムを内製化し、職員・会員事業者の双方におけるDXに貢献～

2023年8月から2024年2月にわたり、君津商工会議所に対しDX推進体制の構築を伴走支援しました。紙と押印を基本とした業務フローから、サイボウズ株式会社の提供する「kintone」を導入したことで、業務システム構築の内製化が可能となり、職員と会員事業者双方のDXへとつながりました。



横芝光町の自動運転バス通年運行が開始

～横芝光町との地域活性化に向けた共創事業に関する包括連携協定の取り組み～

2023年8月、横芝光町と地域活性化に向けた共創事業に関する包括連携協定を締結し、横芝光町が取り組む「自動運転モビリティ事業」を支援しています。本事業は自動運転バスが運行することで、住民が便利かつ自由に移動できる公共交通の実現を目指すもので、2024年2月に通年運行を開始しました。今後は運行実績を積み重ねて知見を蓄積するとともに技術の検証・導入を進め、数年後には一部区間で自動運転レベル4*を目指しています。

*限定された条件下において、システムがすべての運転操作を実施するレベル。



佐原商家町ホテルNIPPONIA 新たな客室棟「SHIPPOU棟」がオープン

当行は、佐原信用金庫とともに出資している観光まちづくり会社、株式会社NIPPONIA SAWARAを通じて、香取市佐原地区の歴史的な資源を活用した地域振興に、継続的に取り組んでいます。

2024年3月、NIPPONIA SAWARAが行っていた第4次開発が完了し、「佐原商家町ホテル NIPPONIA」の新たな宿泊施設「SHIPPOU棟」としてオープンしました。

本施設はもともと、江戸中期に建築された穀倉で、当時は佐原村全体の共同蔵として使用され「町蔵」と呼ばれるなど、地域の食を支えていました。壁や出窓は江戸時代の趣をそのまま残し、まちの中心地である小野川沿いの景観を眺めながらゆっくりと過ごすことができる施設です。

当行は「歴史的資源を活用した観光まちづくり」を基本コンセプトに香取市佐原地区の魅力向上と観光関連産業の活性化をサポートするとともに、今後も一層の地域創生に向けた取り組みを行ってまいります。



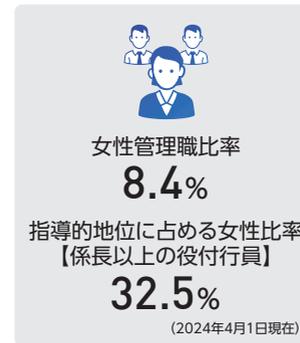
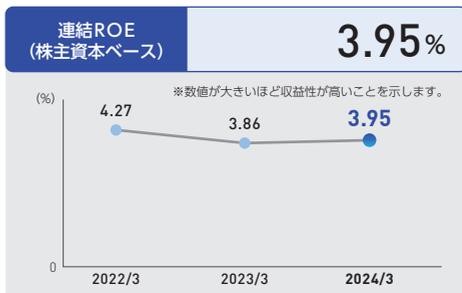
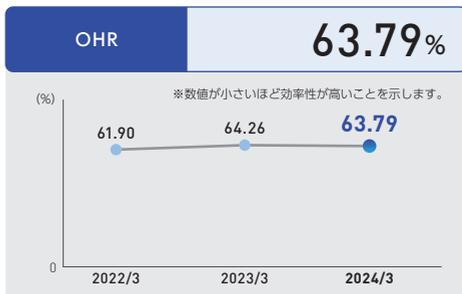
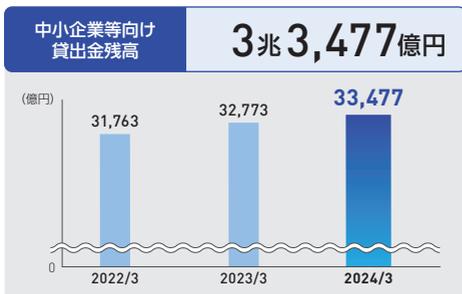
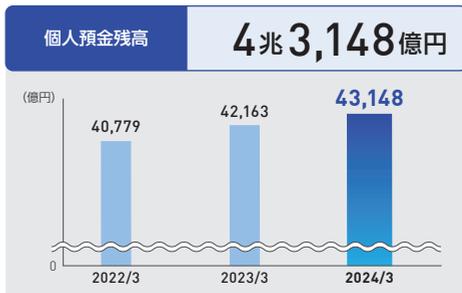
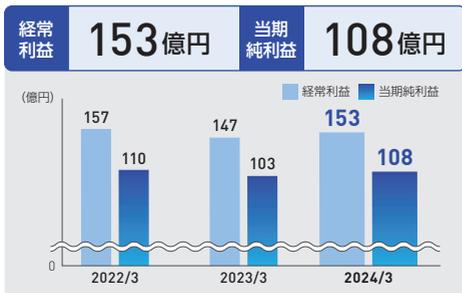
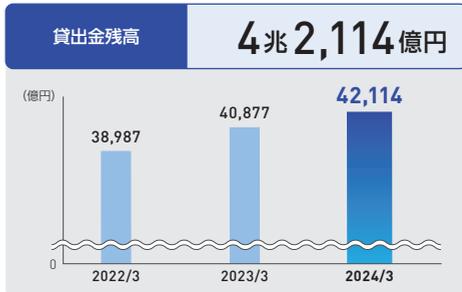
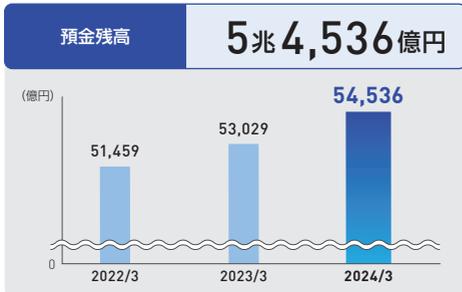
千葉大生を講師に行員向けLGBTQ+研修を実施

当行と千葉大学環境ISO学生委員会は、2017年度より「ecoプロジェクト」～7色の虹を千葉から未来へ～を掲げ、SDGs達成に向けたさまざまな取り組みを行っています。

2023年10月、本プロジェクトの一環として、千葉大生がLGBTQ+ (性的少数者) への理解促進を図る研修を当行行員向けに行いました。本研修では「理解から実践」をテーマとし、千葉大生による最新事情の説明や、当事者の体験談、グループワーク形式でのケーススタディなどを実施しました。

当行では2021年からLGBTに対応した住宅ローンの取り扱いを開始し、誰もが自分らしく安心して生活できる社会の実現を後押ししています。





格付情報

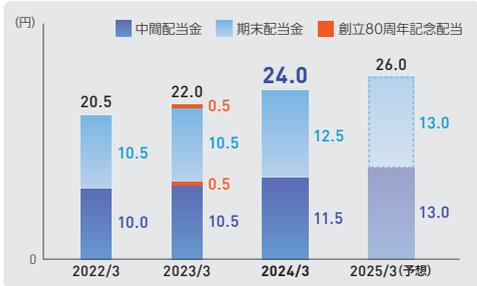
外部からの評価



年間配当金 (1株当たり)

2024年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当12円50銭といたしました。これにより、中間配当金とあわせた年間の配当金は、24円となり、昨年と比べて2円の増配となります。

また、2025年3月期の1株当たりの配当金は、中間、期末それぞれ普通配当13円とし、年間26円となる予想です。



株主優待制度

株主の皆さまの日頃のご愛顧に感謝するとともに投資魅力を高め、より多くの株主さまに長期的に当行株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しています。2022年12月には「金利優遇コース」に加え、個人株主の皆さまを対象に、Webにてお申し込みいただく「宝くじコース」をご用意し、店頭へのご来店が難しい株主さまがご利用いただけるようにしました。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は除きます)

優待1 ギフトカードの贈呈

●3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

🎁 株主さまの保有株式数に応じて年1回プレゼント!

500株以上2,500株未満	2,500株以上5,000株未満	5,000株以上
1,000円相当	3,000円相当	5,000円相当

優待2 選べる株主優待

金利優遇コース

- 500株以上保有されている株主さまご本人
- お取扱期間は年2回

🏠 スーパー定期

店頭表示金利 **＋年0.2%**

500株以上 5,000株未満	100万円まで
5,000株以上	200万円まで

宝くじコース

- 500株以上保有し、定期預金残高100万円以上
- お預け入れたい個人名義の株主さまご本人
- お取扱期間は年2回

🎁 宝くじプレゼント!

500株以上 5,000株未満	1回あたり5枚
5,000株以上	1回あたり10枚

株式の状況 (2024年3月31日現在)

株式数	発行可能株式総数 (千株)		株主数	18,429名
	発行済株式の総数 (千株)	395,014		
	131,427			

(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。

大株主 (2024年3月31日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)	氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,250	8.23	損害保険ジャパン株式会社	3,378	2.71
株式会社千葉銀行	6,106	4.90	千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.49
京葉銀行職員持株会	4,277	3.43	三井住友海上火災保険株式会社	3,007	2.41
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,212	3.38	明治安田生命保険相互会社	2,969	2.38
住友生命保険相互会社	3,561	2.86	住友不動産株式会社	2,509	2.01

(注) 1.上記のほか、当行所有の自己株式6,972千株があります。 2.持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。 3.持株比率は自己株式(6,972千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス https://www.keijobank.co.jp/) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先 お問合せ先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)

役員の状況 (2024年6月26日現在)

取締役

取締役頭取 (代表取締役)	取締役 専務執行役員 (代表取締役)	取締役 専務執行役員 (代表取締役)	取締役 常務執行役員
熊谷 俊行	市川 達史	藤田 剛	藤崎 一男
取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	社外取締役	社外取締役
國井 智之	山崎 資郎	秋山 勝貞	内村 廣志
社外取締役	社外取締役		
戸部 知子	上西 京一郎		

監査役

常勤監査役	常勤監査役
裨田 一浩	尾池 伸一
社外監査役	社外監査役
小野 功	花田 力
社外監査役	
岩原 淳一	

当行のプロフィール (2024年3月31日現在)

設立 1943年3月31日
従業員 1,863名
拠点 122カ所

名称	株式会社京葉銀行	資本金	497億円
英文名称	The Keiyo Bank, Ltd.	総資産	6兆5,326億円
本店	千葉市中央区富士見一丁目11番11号	預金	5兆4,536億円
千葉みなと本部	千葉市中央区千葉港5番45号	貸出金	4兆2,114億円



コーポレートシンボル



「**α**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人とのきずなと、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。コーポレートシンボルの「アルファバンク」は、“人とのかきずなを大切に、豊かな未来を切り拓いてゆきたい” “常に皆様にプラスアルファを提供し続ける銀行になりたい” そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



本店
千葉みなと本部
TEL.043(306)2121

〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-11-11
〒260-0026 千葉市中央区千葉港 5-45
<https://www.keiyobank.co.jp/>



※PDF版は認証紙に印刷された認証印刷物データを使用して作成しています。

2024年6月発行



京葉銀行LINE公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね!

LINEアプリで公式アカウントを検索

楽しいコンテンツやLINE限定の特典も!

京葉銀行

